

1章 花を飾る

番号	名称	摘要	国・時代	材質	法量(cm)
1	歳朝図	富岡鉄斎筆 大正11年(1922)	日本・大正	紙本墨画淡彩	133.2×28.4
2	百老図巻	富岡鉄斎筆	日本・明治一 大正	紙本墨画淡彩	31.8×274.2
3	五彩美人文大皿	景德鎮窯	中国・清前期		高5.8 径40.0
4	緑地黄彩活花文平鉢	景德鎮窯	中国・清		高6.8 径27.5
5	柿地五彩活花文皿	景德鎮窯	中国・清		高3.2 径20.6
6	翰墨隨身帖	田能村竹田筆 12図	日本・江戸後期	紙本墨画淡彩	各23.0×15.4
7	宗清立花伝書	享祿2年(1529)奥書	日本・室町	紙本着色	17.7×402.9
8	花車図屏風	六曲一双 特別出陳 真正極楽寺(真如堂)蔵	日本・江戸前期	紙本金地着色	各151.5×359.0
9	立花図屏風	六曲一双 特別出陳 華道家元池坊総務所蔵	日本・江戸前期	紙本着色	各136.2×331.3

2章 古画を味わう

10	古画縮図(布袋)	狩野探幽筆	日本・江戸前期	紙本墨画	14.6×26.4
11	古画縮図(花鳥)	狩野探幽筆	日本・江戸前期	紙本墨画淡彩	27.5×1159.5
12	古画縮図(人物)	狩野探幽筆	日本・江戸前期	紙本墨画淡彩	14.2×601.4
13	唐絵手鑑	狩野安信筆 全56図のうち	日本・江戸前期	絹本墨画淡彩 ほか	(全体)31.4×44.1
14	雪舟写山水図	尾形光琳筆	日本・江戸中期	紙本墨画	29.1×47.4
15	光琳筆鏤絵山水文四方火入	尾形乾山作 京都 正徳元年(1711)頃	日本・江戸中期		高10.8 幅11.5
16	源氏物語図屏風	伝岩佐又兵衛筆 六曲一隻	日本・江戸前期	紙本着色	96.5×243.2

3章 鉄砲をきわめる

17-1	稲富流鉄砲伝書 百拾三箇條巻二	19帖のうち 慶長17年(1612)奥書 濱口勘右衛門長久から松平忠直へ相伝	日本・桃山	紙本金銀泥下 絵墨書	25.6×255.2
17-2	稲富流鉄砲伝書 百拾三箇條注巻三	19帖のうち 慶長17年(1612)奥書 濱口勘右衛門長久から松平忠直へ相伝	日本・桃山	紙本金銀泥下 絵墨書	25.6×983.7
17-3	稲富流鉄砲伝書 八町迄切積巻六	19帖のうち 慶長17年(1612)奥書 濱口勘右衛門長久から松平忠直へ相伝	日本・桃山	紙本金銀泥下 絵墨書	25.6×277.1
17-4	稲富流鉄砲伝書 極位筒拵朱積巻十	19帖のうち 慶長17年(1612)奥書 濱口勘右衛門長久から松平忠直へ相伝	日本・桃山	紙本金銀泥下 絵墨書	25.6×617.2

17-5	稲富流鉄砲伝書 極位卅二相之書	19帖のうち 慶長17年(1612)奥書 濱口勘右衛門長久から松平忠直へ相伝	日本・桃山	紙本金銀泥下 絵墨書	25.6×383.4
17-6	稲富流鉄砲伝書 極位算積	19帖のうち 慶長17年(1612)奥書 濱口勘右衛門長久から松平忠直へ相伝	日本・桃山	紙本金銀泥下 絵墨書	25.6×320.2
17-7	稲富流鉄砲伝書 極位葉積之書	19帖のうち 慶長17年(1612)奥書 濱口勘右衛門長久から松平忠直へ相伝	日本・桃山	紙本金銀泥下 絵墨書	25.6×511.3
17-8	稲富流鉄砲伝書 拵目當絵図書	19帖のうち 慶長17年(1612)奥書 濱口勘右衛門長久から松平忠直へ相伝	日本・桃山	紙本金銀泥下 絵墨書	25.6×190.4
17-9	稲富流鉄砲伝書 直矢倉之巻	元和4年(1618)奥書 松平忠直から中川右京へ相伝	日本・江戸前期	紙本金銀泥下 絵墨書	8.4×180.6

展 観 内 容

新春の開催となる本展では、日本人の暮らしをいろいろとってきた、趣味や芸道の世界の一端を、特別出陳作品と館蔵品でご紹介します。

まず、「花を飾る」と題したコーナーでは、室町時代の花伝書や、江戸時代の「立花図屏風」(華道家元池坊総務所蔵)と豪華絢爛たる「花車図屏風」(真正極楽寺[真如堂]蔵)をご覧ください。大名家の広大な床の間に、こうした花車が飾られることもあったと伝えられています。折り取った花を瓶にさすという行為を、芸道の域にまで磨き上げた人々もさることながら、それを大人の嗜みとして習得するたくさんの人々がいたからこそ、華道は護り伝えられてきました。

つづいて「古画を味わう」のコーナーでは、江戸時代の古画鑑定の様子を、狩野探幽が残した縮図をとおして眺め、最後の「鉄砲をきわめる」では、鉄砲術の華麗な秘伝書を取りあげます。17世紀のはじめに越前藩主松平忠直が手に入れた秘伝書は、金銀泥下絵が施されたものでした。実戦で鉄砲が使われていた時代のものですが、きな臭さを微塵も感じさせない書物です。

往時の大人の嗜みは、そのまま現代に通じるものではありませんが、そこに、これからの暮らしを豊かにするヒントがひそんでいるかもしれません。